

授業科目

臨床検査総論I

担当教員名 長濱 大輔	対象学年	2	対象学科	臨床
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○		

授業の概要

検査総合管理学(臨床検査総論の一部+検査管理総論)の概要を学び、次に臨床検査総論の主となる一般検査学を学ぶ。それは臨床検査の意義と臨床検査技師の役割を認識し、その心構えと一般的注意事項を身に付ける。そして採血法を始めとした検体採取方法と取扱い方法を習得する。それから血液検査以外の尿検査、糞便検査、脳脊髄液検査、関節液検査などのスクリーニング検査を主とする一般検査学を学ぶ。

授業の目的

この授業で学ぶ臨床検査総論(検査総合管理学を含む)は、臨床検査学の基礎知識と基礎技術を習得する学問である。まさしく臨床検査学の総論で、専門科目を学ぶための前段階に相当するので、慎重な取り組みが必要である。

学習目標

1. 臨床検査技師の業務と心構えについて簡単に説明できる。
2. 採血の手技や注意点について説明できる。
3. 各種検体の取り扱い方、検査方法、臨床的意義について説明できる。
4. 腎機能検査、妊娠反応検査、薬物検査の検査方法およびデータの評価について学ぶ。
5. 一般検査データの評価ができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	臨床検査技師の役割と使命、臨床検査の意義、検査管理の概念	講義	長濱 大輔
2	検査部門の組織と業務・管理運営、検査の受付	講義	長濱 大輔
3	検体の取り扱い方法、検査結果の報告、検査の精度保証(精度管理)	講義	長濱 大輔
4	一般検査概論	講義	長濱 大輔
5	尿の一般的性状と物理的検査	講義	長濱 大輔
6	尿試験紙の取扱い方法	講義	長濱 大輔
7	尿タンパク	講義	長濱 大輔
8	尿糖・アセトン体	講義	長濱 大輔
9	血尿、溶血尿(ヘモグロビン尿、ミオグロビン尿)、尿潜血反応とアスコルビン酸	講義	長濱 大輔
10	尿ビリルビン・ウロビリニン	講義	長濱 大輔
11	尿中白血球(膿尿)と亜硝酸塩(細菌尿)の検出	講義	長濱 大輔
12	尿ポルフィリン体・ポルフィロピリノゲン・フェニルケトン体・アルカプトン・5-HIAA・VMA・メラノゲン・脂肪・インジカン	講義	長濱 大輔
13	腎機能検査、妊娠反応、乱用薬物スクリーニング検査	講義	長濱 大輔
14	一般検査データの評価	講義	長濱 大輔

15	まとめ	講義	長濱 大 輔
----	-----	----	-----------

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	最新臨床検査学講座 検査総合管理学	高木 康、三村 邦裕 他	医歯薬出版株式会社	2016年	2,600円	
	最新臨床検査学講座 一般検査学	宿谷 賢一、三村 邦裕	医歯薬出版株式会社	2016年	2,800円	
参考書	標準臨床検査学 臨床検査総論	伊藤機一、松尾収二	(株)医学書院	2013年	3,000円	
その他の資料						

評価方法

定期試験(90%)、小テスト(10%)

履修上の留意点

臨床検査技師の役割および臨床検査に関する基本的事項を学ぶので、確実に理解する。

オフィスアワー・連絡先

nagahama@nuhw.ac.jp